

平成28年7月発行

# 全篤連だより

No. 26

発行所

(公財)全国篤志面接委員連盟

〒165-0026

東京都中野区新井3-37-2

電話 03-3389-9494

## 目次

平成28年度定時評議員会における 南野会長あいさつ …………… 1	賛助会員名簿 …………… 16
平成27年度第3回理事会(定時)の開催 …… 2	平成28年度全国及び各管区管内研修協議会 の開催予定 …………… 17
平成27年度第2回評議員会(臨時)の開催 …… 2	東 西 南 北 …………… 18
平成28年度第1回理事会(定時)及び 第1回評議員会(定時)の開催 …………… 3	事務局から …………… 20
平成27年度常任理事会及び 平成28年度常任理事会の開催 …………… 4	雑 記 帳 …………… 20
平成28年度の事業計画及び予算書 …………… 5	全国篤志面接委員連盟創立30周年記念大会 「大会スローガン」の募集 …………… 21
平成27年度事業報告及び決算報告 …………… 8	平成28年度「篤志面接委員国内交流研修」 のご案内 …………… 22
役員・評議員一覧表 …………… 15	

## 平成28年度定時評議員会における南野会長あいさつ

新年度も早や三月、鬱とうしい梅雨の季節となってまいりました。評議員の皆様には、何かとお忙しい中、この評議員会にご出席いただき、誠にありがとうございました。

さて、本日の評議員会では、全理事・監事の任期満了、定年制による辞任、また、身体不調の評議員お一人が辞任することに伴う新しい体制に移行するための人事案について、さらに、平成27年度の事業報告及び収支決算等の重要案件を審議する予定となっています。短い時間ではありますが、実のある会議にしていただければ幸いです。

ところで、当連盟の昨年度の1年間を振り返ってみますと、一昨年から新たに導入した初任者研修も2回目が実施されたことにより、事業として軌道に乗り、加えて、矯正当局の全面的なご配慮とご支援を頂きながら、安定した状態で全事業が運営されてきたものと思料されます。本年度の事業もそれを引き継ぎ、円滑に実施されるものと期待をしているところであります。

また、年間の経費等についても、公益法人として適正な運用に努めてまいりましたが、収支決算報告のご審議に当たっては、どうか遠慮なく疑問や不明の点についてご意見、ご質問をいただきたいと思います。



最後に、明年12月5日・6日に開催が決定しております「全国篤志面接委員連盟創立30周年記念大会」については、昨年から検討委員会を設け、タイムスケジュール、講演者等の骨格となる内容を詰めてまいりましたが、本年度は、いよいよ実施に向けた体制を整える大切な年度になろうかと考えております。

どうか評議員の皆様におかれましても強力なご支援とご協力をお願い申し上げ、私の挨拶といたします。

## 平成27年度第3回理事会(定時)の開催

平成28年3月15日(火)午前10時30分から法務省第1会議室において開催された。主な議案は次のとおり。

### 議案1 人事の件

— 国の評議員5名の春の異動に伴い、後任評議員を充てることについて、原案どおり承認。

### 議案2 平成28年度事業計画及び収支予算案の件

— 新年度事業計画案とこれに必要な予算案について原案どおり承認。

### 議案3 第30回全国篤志面接委員大会(記念大会)特定費用準備資金設定の件

— 記念大会の開催に要する予算確保のために準備資金を設定することについて、原案どおり承認。

### 議案4 経理規程及び給与規程の一部改正の件

— 議案3の特定費用準備資金設定に必要な勘定科目の設定等を内容とする経理規程の一部改正、給与対象となる職員の俸給月額を内容とする給与規程の一部改正について審議した結果、経理規程の改正は原案どおり承認され、給与規程の改正は継続審議とされた。

### 議案5 次回理事会等開催の件

— 平成28年度第1回理事会(定時)の開催を5月19日(木)とすることについて、原案どおり了承された。

### 議案6 その他

— 特に提案等なし。

報告事項 理事長から、前回理事会以降の職務執行状況について報告があった。

## 平成27年度第2回評議員会(臨時)の開催

平成28年3月15日(火)午後1時から法務省第1会議室において開催された。主な議案は次のとおり。

### 議案1 人事の件

—国の評議員5名の春の異動に伴い、後任評議員を充てることについて、原案どおり承認。

議案2 その他

—特に提案等なし。

- 報告事項 (1) 平成28年度事業計画及び収支予算案について  
(2) 代表理事等の職務執行状況について  
(3) 第30回全国篤志面接委員大会(記念大会)について

## 平成28年度第1回理事会(定時)及び第1回評議員会(定時)の開催

### 1 定時理事会

平成28年5月19日(木)午前10時30分から法務省第1会議室において開催された。主な議案は次のとおり。

議案1 人事の件

—任期終了に伴い、9名の理事に代わって新理事が、2名の監事に代わって新監事がそれぞれ就任し、また、1名の評議員に代わって新評議員が就任することについて、原案どおり承認。

議案2 平成27年度事業報告及び収支決算の件

—監事による監査結果報告も受け、原案どおり承認。

議案3 「特定個人情報等取扱規程」の制定の件

—原案どおり承認。

議案4 平成28年度定時評議員会召集の件

—平成28年6月17日(金)法務省大会議室において召集することについて、原案どおり承認。

議案5 平成28年度公益財団法人JKAの補助金を受け入れる件

—原案どおり承認。

議案6 旅費規程の一部改正の件

—原案どおり承認。

報告事項 代表理事等の職務執行状況

### 2 定時評議員会

平成28年6月17日(金)午前11時30分から法務省地下大会議室において開催された。主な議案は次のとおり。

議案1 人事の件

—理事会原案を承認。

議案2 平成27年度事業報告及び収支決算の件

—理事会原案を承認。

議案3 その他

—提案事項なし。

報告事項 代表理事等の職務執行状況

## 平成27年度常任理事会及び平成28年度常任理事会の開催

### 1 平成27年度常任理事会（臨時）

平成28年3月14日（月）午後2時30分から矯正会館において開催された。主な議案は次のとおり。

議案1 人事について

—国の評議員5名の春の異動に伴い、後任評議員を充てることについて、原案どおり了承。

議案2 第30回全国篤志面接委員大会（記念大会）の開催と特定費用準備資金の設定について

—記念大会の開催に要する予算確保のために準備資金を設定すること、及びこれに必要な経理規程の改正について、原案どおり了承。

議案3 基本財産（国債）の運用について

—当連盟の基本財産としての国債の運用を委託している証券会社から提案のあった売買内容に関して審議した結果、不安定な相場の状況等からしばらく様子を見ることで意見が一致した。

議案4 篤志面接活動の充実・強化対策について

—篤志面接活動の現状を踏まえ、活動を一層充実・強化するために必要な対策について、各委員からざっくばらんな意見を求め、協議した。その結果、5月に再度協議する機会を設け、議論を深めることとなった。

### 2 平成28年度常任理事会（臨時）

平成28年5月18日（水）午後1時から矯正会館において開催された。主な議案は次のとおり。

議案1 平成27年度事業報告及び収支決算について

—監事による監査結果報告も受け、原案どおり了承。

議案2 第30回全国篤志面接委員大会（記念大会）について

—記念大会の開催に向けた準備状況に関する報告とこれに関する意見を聴取した。

議案3 特定個人情報等取扱規程の制定について

—原案どおり了承。

議案4 篤志面接活動の充実・強化対策について

—本年3月に開催された常任理事会における議論を踏まえ、篤志面接活動を一層充実・強化するために必要な対策について、引き続き、各委員からざっくばらんな

意見を求め、協議した。その結果、矯正施設において活動する篤志面接委員の数が減少傾向にあるとともに、篤志面接委員の活動領域自体が狭小傾向にあり、篤志面接活動の意義と役割が改めて問われる危機的状況にあるため、その活動の充実・強化対策を実施する必要があるとの認識で一致した。そこで、協議結果を受けて連盟理事長から各矯正管区管内篤志面接委員協議会あてに充実・強化対策の実施に関する依頼文書を発出することとされた。

## 平成28年度の事業計画及び予算書

### 平成28年度事業計画

#### (研修事業関係)

- 1 中央研修会の開催（JKA、矯正協会などの助成事業）  
全国の篤志面接委員に対し、ケース研究を主体とした集合研修を実施し、資質、能力の啓発を行う。（10月頃に法務省で実施。）
- 2 矯正管区管内篤志面接委員研修協議会の開催（JKA、矯正協会などの助成事業）  
各管内篤志面接委員協議会に委託して、当該管内の篤志面接委員に対し、ケース研究を主体とした集合研修を実施し、資質、能力の啓発を行う。（6月頃から11月頃にかけて各管内で実施。）
- 3 教養訓練研修の実施  
各管内篤志面接委員協議会に委託して、当該管内の篤志面接委員に対し、専門分野の知識、技能について講話形式で集合研修を実施し、資質、能力の啓発を行う。（9月頃から翌年2月頃にかけて、各管内で実施。）
- 4 初任者研修の実施  
委嘱後5年以内の篤志面接委員に対し、面接活動に必要な知識、技能、情報等を付与するための集合研修を実施する。（12月頃に法務省で実施。）

#### (表彰事業関係)

- 1 篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員に対し、全国篤志面接委員連盟会長から表彰を行う。
- 2 篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員に対する法務大臣、矯正管区長、管内篤志面接委員協議会会長などの感謝状等の授与に協力し、祝意を表す。

#### (慶弔事業関係)

篤志面接委員の慶弔に際して、表敬、弔意等を表す。

#### (広報、機関誌事業関係)

- 1 機関誌「全篤連だより」の発行
- 2 広報用第2パンフレットの作成、配布
- 3 研修会、協議会等の記録誌の発行（全国篤志面接委員大会、各管内篤志面接委員研修協議

会等)

(事務局関係)

1 事業運営目標の達成

公益法人を取り巻く環境、情勢等を踏まえ、当法人が目指す公益目的の実現のために、特に次の事項を重点とする。

- (1) 新公益法人の運営体制の一層の定着
- (2) 各管内篤志面接委員協議会及び矯正施設との連携、協力体制の維持、強化
- (3) 財務規律、特に監査体制の強化
- (4) 篤志面接活動の広報の積極化と会員の拡充

2 重要課題の検討

- (1) 矯正施設における賛助会員制度の導入、定着
- (2) 篤志面接委員手帳(仮称)の作成(平成29年度記念事業に完成)
- (3) 連盟発足30周年と第30回全国篤志面接委員記念大会の開催の準備(平成29年度の記念事業)

3 予算の効率的執行

- (1) 厳しい社会、経済状況のもと、法人運営の基礎となる寄附金や補助金などの貴重な収入を確保し、事業の充実・発展のために、限られた予算を効率的に執行することに努める。
- (2) 記念事業に向け、資金の確保を行う。

(その他)

法務省主催「社会を明るくする運動」に協力する。

(資金調達及び設備投資の見込み)

これらの事業を実施するに当たり、当期間中、①資金の借入れ、②重要な設備投資の予定は、いずれもない。

平成28年度 収支予算書(総括表)

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部 (経常収益)			
①基本財産運用益	3,487,000	3,487,000	0
基本財産利息	3,487,000	3,487,000	0
②受取補助金	5,000,000	5,000,000	0
受取補助金	5,000,000	5,000,000	0
③受取寄付金	15,150,000	15,100,000	50,000
受取寄付金	15,150,000	15,100,000	50,000
④雑収益	701,000	1,001,000	△ 300,000
受取利息	1,000	1,000	0

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
雑収益	700,000	1,000,000	△ 300,000
経常収益計 (経常費用)	24,338,000	24,588,000	△ 250,000
①事業費			
給料手当	2,100,000	2,500,000	△ 400,000
臨時雇賃金	100,000	0	100,000
法定福利費	224,000	224,000	0
退職給付負担金	135,000	135,000	0
旅費交通費	6,000,000	6,500,000	△ 500,000
諸謝金	1,050,000	1,050,000	0
会場借上料	1,250,000	1,250,000	0
印刷製本費	3,300,000	3,500,000	△ 200,000
通信運搬費	450,000	400,000	50,000
消耗品費	250,000	250,000	0
表彰費	350,000	350,000	0
速記費	120,000	120,000	0
広報費	1,500,000	1,500,000	0
雑費	2,270,500	1,449,000	821,500
事業費計	19,099,500	19,228,000	△ 128,500
②管理費			0
給料手当	900,000	1,100,000	△ 200,000
法定福利費	96,000	96,000	0
退職給付負担金	57,000	57,000	0
会議費	250,000	250,000	0
旅費交通費	2,500,000	2,500,000	0
通信運搬費	280,000	280,000	0
慶弔費	60,000	35,000	25,000
消耗品費	15,000	15,000	0
賃借料	150,000	150,000	0
諸謝金	250,000	250,000	0
印刷製本費	100,000	80,000	20,000
支払手数料	100,000	100,000	0
租税公課	5,000	5,000	0
雑費	475,500	442,000	33,500
管理費計	5,238,500	5,360,000	△ 121,500
経常費用計	24,338,000	24,588,000	△ 250,000
当期経常増減額	0	0	0
2 経常外増減の部 (経常外収益) (経常外費用)			
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	215,697,180	215,697,180	0
一般正味財産期末残高	215,697,180	215,697,180	0
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高	215,697,180	215,697,180	0

# 平成27年度事業報告及び決算報告

## 平成27年度 事業報告

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

### (研修事業関係)

#### 1 全国篤志面接委員大会（中央研修会）を開催した。

地 区	日時・場所・参加人員	研修内容
中 央	平成27年10月20日(火) 法務省大会議室 参加者152名 (委員124名, 関係者28名)	・基調講演「我が法曹人生を振り返って～最高裁のことなど」 弁護士 横田 尤孝 氏 ・個別発表4名 ・パネルディスカッション「篤志面接活動のよここび」 パネラー6名

#### 2 矯正管区管内篤志面接委員研修協議会を開催した。

地 区	日時・場所・参加人員	研修内容
札 幌	平成27年7月23日(木)・24日(金) ロワジールホテル旭川 参加者133名 (委員79名, 関係者54名)	・基調講演「見放されているものに価値を —『社会貢献』と『利益追求』は矛盾しない」 株式会社北海道健誠社 代表取締役社長 瀧野 喜市 氏 ・講演「つなぐのは命」 旭川市旭山動物園園長 坂東 元 氏 ・研究発表者3名
仙 台	平成27年9月11日(金) 秋田キャッスルホテル 参加者99名 (委員57名, 関係者42名)	・基調講演「交通事故被害者遺族の心情と被害者理解について」 公益財団法人秋田被害者支援センター理事 三浦 芳子 氏 ・研究発表者4名
東 京	平成27年11月16日(月) さいたま新都心合同庁舎2号館5階共用大会議室 参加者207名 (委員125名, 関係者82名)	・基調講演「被虐待体験と問題行動」 千葉大学教育学部教授 羽間 京子 氏 ・グループ討議：5分野，12グループに分け全員参加。
名古屋	平成27年11月5日(木) プラザ洞津(津市) 参加者114名 (委員77名, 関係者37名)	・研究発表4名 ・パネルディスカッション4名 コーディネーター 三重刑務所就労支援スタッフ 中谷 智美 氏



地 区	日時・場所・参加人員	研修内容
大 阪	平成27年6月17日(水) クサツエストピアホテル 参加者199名 (委員125名, 関係者74名)	・基調講演「本当の幸せとは・・・」 作詞・作曲・音楽プロデューサー 片山 始 氏 ・研究発表者4名
広 島	平成27年10月29日(木) ホテルモナーク鳥取 参加者105名 (委員59名, 関係者46名)	・基調講演「秀吉の鳥取城攻防戦」 前若桜町立わかさ生涯学習情報館館長 入江 宜明 氏 ・研究発表者3名
高 松	平成27年11月25日(水) オークラホテル丸亀 参加者 63名 (委員38名, 関係者25名)	・基調講演「更生保護施設 両全会の社会復帰支援 活動 ―司法と福祉の連携」 更生保護法人両全会 理事長 小畑 輝海 氏 ・研究発表者3名
福 岡	平成27年11月25日(水)・ 26日(木) ANAクラウンプラザホテル熊 本ニュースカイ 参加者185名 (委員106名, 関係者79名)	・基調講演「いのち一番 金は二の次」 菊池養生園 名誉院長 竹熊 宜孝 氏 ・個別発表者4名

### 3 初任者研修を実施した。

地 区	日時・場所・参加人員	研修内容
中 央	初任者研修会(第2回) 平成27年12月10日(木)・ 11日(金) 法務省大会議室 参加者55名 (委員51名, 関係者4名)	一日目 ・講話Ⅰ「矯正行政と篤志面接活動の意義」 ～刑事施設法を中心に～ 矯正局成人矯正課企画官 杉山 多恵 氏 ・講話Ⅱ「矯正行政と篤志面接活動の意義」 ～少年院法を中心に～ 矯正局少年矯正課企画官 岩浪 健 氏 ・講話Ⅲ「面接指導技術」 駿河台大学心理学部教授 川邊 讓 氏 ・講話Ⅳ「篤志面接活動の歴史, 制度と現在の課 題」 全国篤志面接委員連盟理事長 佐藤 良彦 二日目 ・講話Ⅴ「篤志面接活動の施設実務」 府中刑務所教育部 統括矯正処遇官(厚生担当) 松井 重樹 氏 多摩少年院 首席専門官(支援担当) 北村 大 氏 ・班別討議 5グループ

4 矯正管区管内篤志面接委員教養訓練研修を実施した。

地 区	日時・場所・参加人員	研 修 内 容
札 幌	平成28年1月28日(木) ニューオータニイン札幌 参加者 54名 (委員47名, 関係者7名)	「話を聴くことから生まれる希望」 北海道教育大学大学院 学校臨床心理専攻教授 庄井 良信 氏
仙 台	平成27年11月20日(金) 仙台ガーデンパレス 参加者 42名 (委員40名, 関係者2名)	「矯正施設の近年の取組」～再犯・再非行防止を 中心に～ 東北少年院長 齊藤 峰 氏
東 京	平成28年2月4日(木) さいたま新都心合同庁舎2号館 5階共用大会議室 参加者111名 (委員105名, 関係者6名)	「“心のホーム”を築くためにーホームレス襲撃事 件と若者の心理」 一般社団法人ホームレス問題の授業づくり全国 ネット(HCネット) 代表理事 北村 年子 氏
名古屋	平成27年9月4日(木) 名古屋合同庁舎第3号館7階会 議室 参加者 73名 (委員70名, 関係者3名)	「少年院法及び少年鑑別所法の概要について」 名古屋矯正管区少年矯正第一課長 藤原 尚子 氏 名古屋矯正管区少年矯正第二課長 関谷 益実 氏
大 阪	平成28年2月1日(月) 大阪合同庁舎4号館4階講堂 参加者106名 (委員100名, 関係者6名)	「最近の矯正の現状と篤志面接委員に望むこと」 法務省矯正局総務課長 大橋 哲 氏
広 島	平成28年2月4日(木) 広島矯正管区ゼミナール室 参加者 65名 (委員59名, 関係者6名)	「刑務所の中で、そして、その後」 特定非営利活動法人「食べて語ろう会」理事 山田 恭子 氏 「指画にかける人生」 中国天津美術学院客員教授 濱田 壽子 氏
高 松	平成28年2月18日(木) 高松法務合同庁舎6階 四国地方更生保護委員会会議室 参加者 28名 (委員25名, 関係者3名)	「犯罪の更生と篤志面接委員としての使命・喜び」 大阪矯正管区管内篤志面接委員協議会副会長 弁護士 大川 哲次 氏

地 区	日時・場所・参加人員	研 修 内 容
福 岡	平成28年2月9日(火) 矯正研修所福岡支所第1教室 参加者 50名 (委員32名, 関係者18名)	「自立更生までの歩み～ヒューマン・ハーバーでの体験を通して」 雲水 代表 立花 太郎 氏 「ヒューマン・ハーバーの取組について～再犯のない社会実現を目指して」 株式会社ヒューマン・ハーバー 代表取締役 副島 勲 氏

#### (表彰事業関係)

- 1 篤志面接委員活動に功績のあった篤志面接委員20名に対して会長表彰を実施した。
- 2 篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員に対する法務大臣, 矯正管区長, 管区管内篤志面接委員協議会会長などの感謝状等の授与に際して祝意を表した。

#### (慶弔事業関係)

篤志面接委員の慶弔に際して, 表敬, 慰謝を行った。

#### (広報・機関誌事業関係)

- 1 ホームページを更新し, 内容の充実と広報活動の充実を図った。
- 2 機関誌「全篤連だより」を平成27年7月, 同28年3月に発行した。
- 3 研究会, 協議会等の記録誌の出版 全国篤志面接委員大会, 各管区管内篤志面接委員研修協議会(講演会)及び第2回初任者研修会の実施に際し記録誌を発行した。

#### (事務局関係)

- 1 事業運営目標達成に向け, その基礎となる次の点に留意した。
  - (1) 引き続き, 税理士と契約し財務の指導を受けるとともに, 毎月の予算執行状況を監事に報告するほか, 監事による10月までの上半期の中間監査を実施するなど, 財務状況の把握を確実にした。
  - (2) ホームページを適宜更新し, 連盟からの広報活動の積極化に努めた。
- 2 矯正施設賛助会員制度が発足し, 多数の方の申し込みがあった。
- 3 創立30周年記念大会に向け, 準備委員会を設置し, 検討を重ねた。
- 4 予算執行について
  - (1) 公益目的事業会計について, 昨年度は赤字であったが, 2ヶ年度間の差額が黒字であることから, 内閣府からの問い合わせがあり, それに対して創立30周年記念大会の資金として充当する旨を説明した。また, 創立30周年記念大会用費用として, 記念大会準備積立資金を設定することとした。
  - (2) 法人会計については, 予算内に収めるため, 経費を節減した。

#### (その他の事業関係)

- 1 法務省主催の「社会を明るくする運動」に協力した。
- 2 東京都共同募金会主催の「NHK歳末たすけあい」に協力した。

## 平成27年度 正味財産増減計算書 (内訳表)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：円)

科 目	公益事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,352,000	1,135,500	3,487,500
基本財産受取利息	2,352,000	1,135,500	3,487,500
受取補助金等	4,689,717		4,689,717
受取民間補助金	4,689,717		4,689,717
受取寄付金	9,741,800	4,110,200	13,852,000
受取寄付金	9,741,800	4,110,200	13,852,000
雑収益	671,000	1,339	672,339
受取利息		1,339	1,339
雑収益	671,000		671,000
経常収益計	17,454,517	5,247,039	22,701,556
(2) 経常費用			
事業費	17,521,470		17,521,470
給料手当	2,537,759		2,537,759
臨時雇賃金	50,000		50,000
法定福利費	289,878		289,878
退職給付費用	134,400		134,400
旅費交通費	5,676,222		5,676,222
諸謝金	996,645		996,645
賃借料	1,686,260		1,686,260
印刷製本費	2,955,991		2,955,991
通信運搬費	476,835		476,835
消耗品費	221,812		221,812
表彰費	340,830		340,830
速記費	112,320		112,320
広報費	659,496		659,496
雑費	1,383,022		1,383,022
管理費		4,695,233	4,695,233
給料手当		1,087,611	1,087,611
法定福利費		124,234	124,234
退職給付費用		57,600	57,600
会議費		244,218	244,218
旅費交通費		2,046,829	2,046,829
通信運搬費		264,535	264,535

科 目	公益事業会計	法人会計	合 計
慶弔費		55,936	55,936
消耗品費		128,388	128,388
賃借料		153,944	153,944
諸謝金		245,014	245,014
印刷製本費		136,620	136,620
支払手数料		119,406	119,406
租税公課		4,600	4,600
雑費		26,298	26,298
経常費用計	17,521,470	4,695,233	22,216,703
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 66,953	551,806	484,853
基本財産評価損益等			20,707,665
評価損益等計			20,707,665
当期経常増減額			21,192,518
2. 経常外増減の部			
（1）経常外収益			
経常外収益計			
（2）経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額			21,192,518
一般正味財産期首残高			215,697,180
一般正味財産期末残高			236,889,698
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高			236,889,698

## 平成27年度 貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,790,052	10,165,859	△ 2,375,807
前払金	461,945	597	461,348
流動資産合計	8,251,997	10,166,456	△ 1,914,459
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	218,693,577	197,985,912	20,707,665
普通預金	0	0	0
基本財産合計	218,693,577	197,985,912	20,707,665
(2) 特定資産			
記念大会準備積立資金	3,000,000	0	3,000,000
(3) その他固定資産			
長期貸付金	7,000,000	7,600,000	△ 600,000
固定資産合計	228,693,577	205,585,912	23,107,665
資産合計	236,945,574	215,752,368	21,193,206
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	28,088	27,744	344
預り金	27,788	27,444	344
流動負債合計	55,876	55,188	688
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債合計	55,876	55,188	688
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	236,889,698	215,697,180	21,192,518
(うち基本財産への充当額)	(218,693,577)	(197,985,912)	(20,707,665)
正味財産合計	236,889,698	215,697,180	21,192,518
負債及び正味財産合計	236,945,574	215,752,368	21,193,206

# 役員・評議員一覧表

平成28年6月17日現在

区 分	理事・監事	評 議 員
会 長		南 野 知恵子
副 会 長		大 槻 彌榮子
		内 村 撒母耳
		井 上 廣
		三 浦 善 詔
理 事 長	佐 藤 良 彦	河 合 幹 雄
副理事長	室 井 誠 一	西 原 春 夫
常任理事 (札幌)	根 本 和 雄	千 葉 紘 子
(仙台)	徳 力 賢 隆	山 田 義 俊
(東京)	福 田 紀 夫	近 藤 哲 城
(名古屋)	宮 田 修	西 俊 六
(大阪)	大 川 哲 次	宮 川 憲 一
(広島)	平 山 助 成	福 田 忠 男
(高松)	前 田 直 子	山 村 侑 僕
(福岡)	松 田 良 太	鬼 頭 英 彬
理 事 (札幌)	富 樫 厚 治	松 村 憲 一
(仙台)	安 田 裕 子	木 村 敦
(東京)	渡 辺 道 代	青 山 純
	阿 部 憲 仁	東小園 誠
(名古屋)	東 松 磐 樹	倉 本 修 一
(大阪)	佐 野 貫 順	日下部 隆
(広島)	岩見屋 健	(以上21名)
(高松)	中 原 亨	
(福岡)	関 谷 静 司	
	(以上19名)	
監 事 (東京)	喜代多 證 顕	
(大阪)	福 岡 久	
	(以上2名)	

○理事・監事の任期 平成28年6月17日から2年間 (平成30年度定時評議員会)。

○評議員の任期 平成25年4月1日から4年間 (平成29年度定時評議員会)。

## 事務局から

### ○賛助会加入のお礼ならびにお願いについて

昨年4月に本部賛助会員に加え施設賛助会員制度が発足し、1年が経過いたしました。本年7月現在53名の方にご入会いただいております、厚くお礼申し上げます。

ご支援いただきました施設賛助会費については、各施設の面接活動に有効活用されることとなっております。各施設における篤志面接委員の活動をより強固なものにするため、本制度の趣旨をご理解の上今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

### ○平成28年度春の叙勲、褒章について

叙勲（瑞宝双光章）	岩永 正人（佐世保学園）	
褒章（藍綬褒章）	赤谷 房江（交野女子学院）	大川 哲次（奈良少年刑務所）
	大野 豊（八街少年院）	小池 博之（新潟刑務所）
	小松 清志（中津少年学院）	墨林 浩（大阪医療刑務所）
	関谷 揚子（盛岡少年院）	徳力 賢隆（東北少年院）
	藤江 道子（青葉女子学園）	

### ○物故者

平成28年2月以降にお亡くなりになった篤志面接委員の方は、次のとおりです。  
慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

28年2月	菅野 誠子（岡山刑務所）	
3月	前田 正二（盛岡少年院）	佐久間 裕（宮城刑務所・東北少年院）
5月	松本 信幸（神奈川医療少年院）	西本 彰一（美祿社会復帰促進センター）
	結城 勝男（東北少年院）	
7月	吉田 静子（横浜刑務所）	

### ○訂正とお詫び

全篤連だよりNo.25の一部に誤りがありました。お詫びして訂正します。

4 ページ 全国及び各管区管内篤志面接委員研修大会の実施

○仙台	誤	5 研究発表「社会復帰後の人間関係に活かせる篤志面接活動」	橋本 典子（青葉女子学園）
	正	5 研究発表「社会復帰後の人間関係に活かせる篤志面接活動」	橋本 典子（青葉女子学園）
			馬場 公子（置賜学院）

18 ページ 物故者 誤 宮下 壽夫（富山刑務所） 正 宮本 壽夫（富山刑務所）

### 雑記帳

7月と言えば、七夕の月です。今年も、筆者の住むマンションでは、住民が思い思いに夢や希望を書いた短冊を竹の葉に結び、七夕の夜にその思いが叶うようにと飾りつけをしていました。伝説によると、この夜は、織姫と彦星が1年に1度天の川を越えて会うことのできる日です。しかし、天の川はいつも静かに流れているわけではありません。時には、大雨が降って水嵩が増え、渡ることができないこ

ともあります。そんな時、どこからかカササギという鳥が飛んできて、天の川の上に群れを作って橋となり織姫を渡した、と言います。ここまでの伝説を知っている人は、意外と少ないかもしれません。カササギは、逆境の中で織姫と彦星をつなぐ橋渡しの役割を演じてくれるのです。七夕に飾りつける短冊を作りながら、施設と社会をつなぐ仕事をしている篤志面接委員も、カササギのようなものだ、と感じました。



## !! 30周年記念大会「大会スローガン」大募集 !!

連盟事務局では、来年の全国篤志面接委員連盟創立30周年記念大会に向けた準備をしていますが、記念大会にふさわしい「大会スローガン」を設けたいと考えています。

そこで、篤志面接委員の皆さまから、スローガンとしてふさわしい言葉を大募集したいと思いますので、電話、FAX、葉書、手紙、あるいは電子メール、どのような方法でも結構ですので、アイデアを事務局までお寄せください。

なお、スローガンは、篤志面接委員の仕事内容が分かり、かつ今日的な課題とも関連したキャッチコピーであることが望ましいと考えています。

(例えば、「社会につなぐ面接活動をめざして」など)

アイデアは、本年10月末までにお寄せください。

採用された方は、記念大会に招待し、参加者の皆さまにご披露させていただきます。

全国篤志面接委員連盟事務局 担当：室井，青木

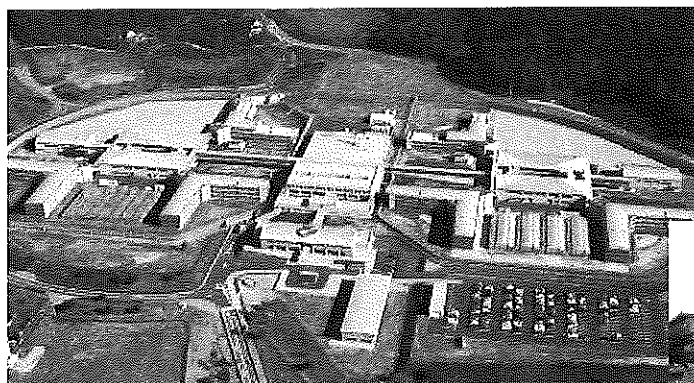
電話番号 03(3389)9494 FAX番号 03(3387)3460

メールアドレス tokumen@extra.ocn.ne.jp

## 美祢社会復帰促進センター・ 岩国刑務所と山口・広島を訪ねる旅

このたび全国篤志面接委員連盟として国内交流研修を実施する運びとなりました。今回は我が国初のPFI手法を活用した官民協働の刑務所として発足した山口県の「美祢社会復帰促進センター」を訪ねます。また中国地方で唯一の女子受刑者のみを収容する刑務所である「岩国刑務所」も視察予定です。

併せて各施設視察とともに、地元関係者の方々との意見交換会も開催いたします。せっかくの訪問の機会ですので、近隣の観光地も訪問いたしますので、ぜひ奮ってご参加くださいますようお願いいたします。



美祢社会復帰促進センター



岩国刑務所

### <国内研修概要とお申し込み方法>

実施日：2016年11月28日(月)～30日(水) 2泊3日

11月28日12:30頃 JR広島駅 集合(広島県広島市南区)

11月30日15:00頃 JR広島駅 解散予定

JR広島駅までの交通手段は各自にてお手配ください。

※九州方面からのご参加の場合、JR新山口駅からの乗車が可能です。

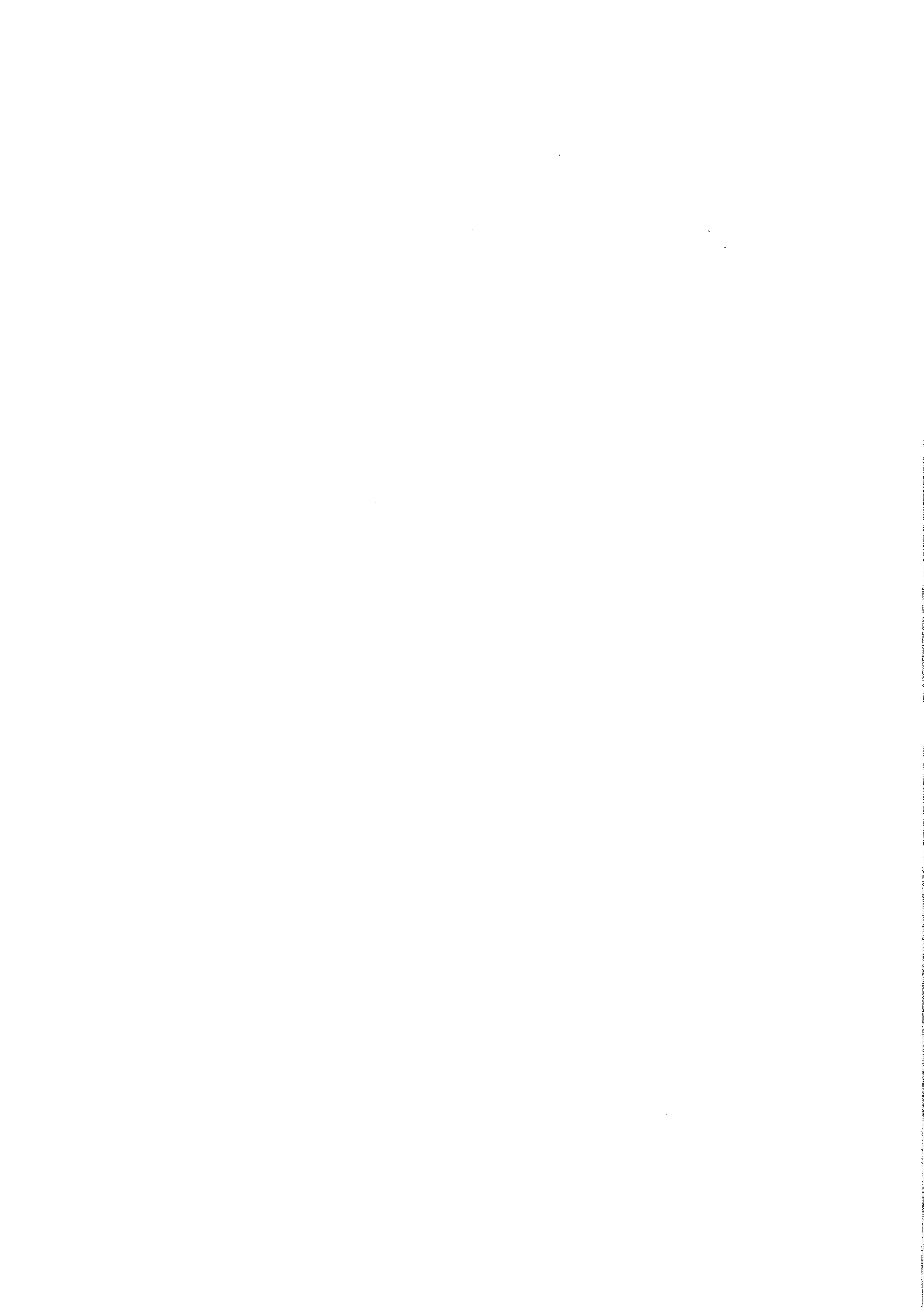
ただし、解散はJR広島駅になります。

行程：次ページ旅程表をご覧ください。

ご参加料金：52,500円

お申込受付期限：9月末日までに全国篤志面接委員連盟へ  
お申し込みください。





## 全国篤志面接委員連盟 国内交流研修参加申込書

申込日                    年            月            日

(個人情報の利用目的の同意)以下に記載いただく個人情報は、ご参加者との連絡のために利用させていただきます。ご参加者がお申し込みいただいた旅行において宿泊・運送機関等の提供するサービスの受領のための手続に必要な範囲内で利用させていただきます。このほか、今回の国内研修のご案内をお客様にお届けするために、ご参加者の個人情報を利用させていただくことがあります。以上にご同意のうえ、国内研修の参加申し込みをお願いいたします。(取扱い旅行会社:(株)JTBコーポレートセールス)

＜参加申込書送付方法＞

下記あてに以下のお申込書を郵送またはFAXにてお申し込みください。

郵送先 〒165-0026 東京都中野区新井3-37-2 矯正会館内 全国篤志面接委員連盟あて  
FAX (03) 3387-3460

＜お問い合わせ先＞ 電話 (03) 3389-9494 Eメール: tokumen@extra.ocn.ne.jp

※FAXの場合、FAXの送り間違いなどないように、番号の押し間違い等にはご注意ください。  
また、送信後は、お手数でも着信の確認をお願いいたします。

＜ご参加者記入欄＞

フリガナ		性別	生年月日(西暦)		
お名前 (署名)		男	年	月	日
		女			
所属先 <small>※いずれかに○</small>					
勤務先名				所属	
Eメール				役職	
フリガナ				電話番号	
自宅住所	〒 -			携帯電話	
				電話番号	
書類送付先 住所	〒 -			携帯電話	
				電話番号	
<small>*勤務先の場合は、会社名、所属部署、役職もご記入ください。</small>					
同行者	有・無	同行者名			同行者 との関係
同行者 連絡先 電話番号	ご本人と同じ場合は記入不要です。				/
			自宅・携帯		
		勤務先			
緊急連絡先	お名前		続柄	電話番号	
ご要望事項					

